

2025 年度

外国人留学生入学試験問題

奈良大学

社会学部 心理学科

【問題】 次のデータは、法務省の出入国在留管理庁が行った「外国人との共生に関する意識調査（日本人対象）」（株式会社サーベイリサーチセンター委託）（令和6年3月公表）の一部です。

調査目的：日本が目指すべき共生社会のビジョンや共生社会の実現に向けた施策に関する日本人の理解、考え方の実態を把握するため

調査対象者：全国の日本国籍を有する18歳以上の方(住民基本台帳から無作為抽出)

調査方法：紙の調査票および2次元コード付協力依頼状を郵送し、郵送回収/Web回収

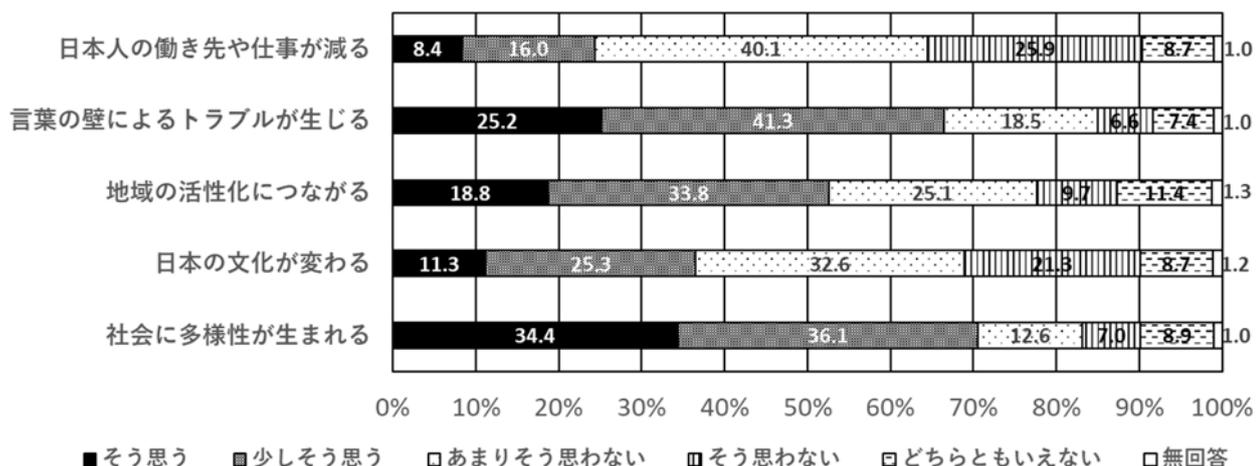
調査期間：令和5年10月17日(火)～同年11月30日(木)

回収状況：配付10,000数、有効回収数4,424(郵送回答2,775/Web回答1,648)

有効回収率44.7%(郵送回答28.0%/Web回答16.7%)

下の図は、「お住まいの地域に外国人が増えることへの影響について、どう思いますか。以下の考え方それぞれについてお答え下さい。（それぞれ1つ選択）」という質問のうち、5つを抜き出して作成した図です。

回答は「そう思う」、「少しそう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」、「どちらともいえない」



い」、「無回答」の中から選択し、全体を 100%に集計した図です。

このことについて、以下の設問に答えなさい。

設問 1：図から読みとれる結果を、留学生の立場から端的にまとめて回答しなさい。

設問 2：図から読みとった結果に基づいて、留学生の立場からあなたの考えを端的にまとめて回答しなさい。

【出題意図】

心理学では、データ（数値）を客観的に読みとる力が求められる。また読みとった内容に基づいて、論理的に自分の考えをまとめる力が求められる。これは外国人留学生においても同様に求められる力である。出題の意図は、それらを行う素養があるか評価するための設問である。具体的には、下記の通りである。

- ・日本語の統計資料、データの正確な読みとり、主要な特徴を簡潔にまとめることができるか。
- ・外国人との共生に関する日本人の意識を読みとることができるか。
- ・留学生としての視点で、自分の考えを論理的に述べることができるか。
- ・日本語で論理的にまとめた表現ができるかどうか。

【評価基準】

上記、出題意図を満たしているか。

【設問1の解答例】

ここでは“そう思う”と“少しそう思う”を1つにまとめ、“あまりそう思わない”“そう思わない”を1つにまとめて論じる。図からは、「日本人の働き先や仕事が減る」ことに否定的な回答が多く(66%)、外国人が地域社会に入ってくることで経済的な競争への心配は比較的少ないと意識していることがわかる。反面、「言葉の壁によるトラブルが生じる」が66.5%と、不安が大きいことがわかる。また「社会に多様性が生まれる」は肯定的な回答が最も多く(70.5%)、「地域の活性化につながる」も52.6%と肯定的回答が多く、それら2つは肯定的な意識が強い。なお、「日本の文化が変わる」ことについては肯定36.6%、否定53.9%と意見が分かれていることが読み取れる。

【設問2の解答例】

結果から、日本人は外国人が地域に増えることに対して、歓迎する気持ちと不安の気持ちの両方を持っていることがわかる。特に「多様性が生まれる」や「地域の活性化につながる」といった意識が半数を超えていることは、日本で生活する留学生としては心強い。一方で、「言葉の壁によるトラブル」を心配する人が多いことから、留学生として日本語を学ぶ努力の必要性を感じる。また、「文化が変わる」ことに対する不安も一定程度の数を占めるため、日本の文化や慣習を尊重して生活する姿勢が大切だと思う。外国人が地域社会に受け入れられるためには、積極的に交流し、日本人との信頼関係を築いていくことが、共生社会の実現につながると考える。